

2014年6月14日

上智大学キリスト教文化研究所活動報告

(2013年度 報告)

1. 講演会活動

①第41回連続講演会

テーマ：「日本における“喪”の心とその形」

日時：2013年6月22日、23日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・個別テーマ・講師

6月22日（土）

「茶の湯における追悼のかたち」

秋山 宗和（茶道教授）

「喪の形而上学—孔子、あるいは儒学の霊性」

若松 英輔（株式会社シナジーカンパニージャパン代表取締役・批評家）

「死に向き合うということ—近代日本人の死生観」

島菌 進（上智大学教授/グリーンケア研究所所長）

6月23日（日）

「人外の〈喪〉—動植物の〈送り〉儀礼から列島的生命観を考える—」

北條 勝貴（上智大学准教授）

「神道における『喪』の心とその形」

三橋 健（神道学者）

②2013年度聖書講座

テーマ「文学における神の物語」

日時：11月16日、17日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・個別テーマ・講師

11月16日(土)

「聖書：生きた「象徴」の物語—八木重吉と十字架の聖ヨハネの詩を題材として—」
片山 はるひ（上智大学教授）

「旧約聖書の物語分析法」
佐久間 勤 （上智大学教授）

「人間の弱さと赦し—山本周五郎『ちくしょう谷』を読む—」
竹内 修一（上智大学教授）

11月17日(日)

「預言者とは誰か」
雨宮 慧（上智大学教授）

「遠藤周作における聖書と文学—魂の渴望」
山根 道公（ノートルダム清心女子大学教授）

2. 出版活動

聖書論文集：『日本における聖書翻訳の歩み』
2013年10月25日 出版社リトン発行

紀 要：「上智大学キリスト教文化研究所紀要」 32号
2014年3月22日発行